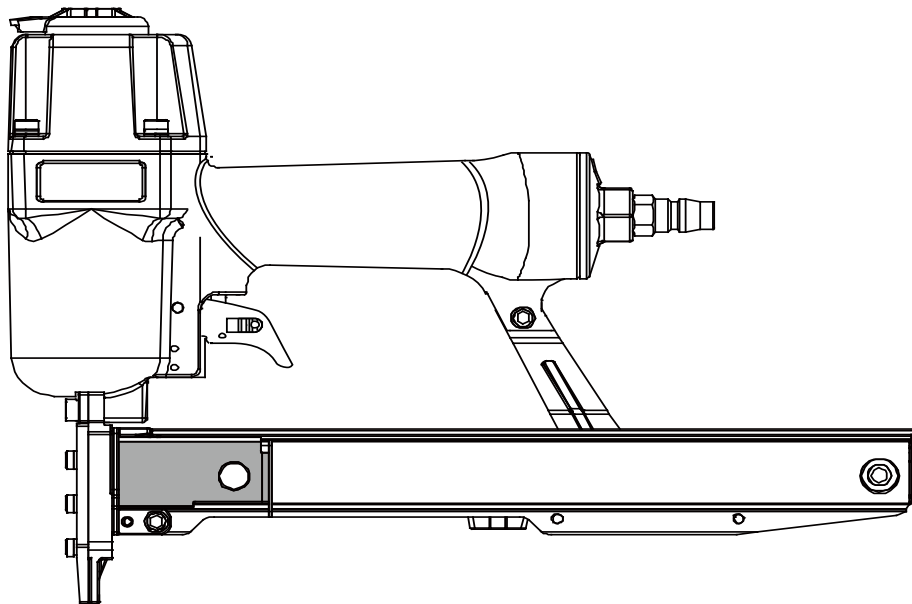


ステーブルタッカー SM-625/V625R 取扱説明書

本機のご使用前に、取扱説明書を最後まで良く読み、正しく安全にお使いいただきますようお願い致します。
(本機の仕様は機能向上などの為、予告なしに変更する場合があります。)






⚠ 【危険】


本機はトリガを引くだけでステーブルが発射します。
ステーブルを打つとき以外は、トリガに触れないでください。
誤ってステーブルが発射すると重大な事故につながる危険があります。

⚠ 【警告】

本機は木材へのステーブル打ち作業を目的とした工具です。
他用途に使用しないでください。
コンクリート、鉄鋼などへステーブルを打ち込まないでください。
射出口が詰まった状態でステーブルを射出すると本機の損傷を招きます。
正常に作動しなくなった場合は自分で修理せず販売店に修理を依頼ください。
絶対に分解また改造をしないでください。

- この取扱説明書での  表示の意味は下記の通りです。

 【危険】	誤った取扱いにより、使用者が死亡または重傷を負う危険が想定される内容のご注意。
 【警告】	誤った取扱いにより、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。
 【注意】	操作に関する重要なご注意。状況によっては重大事故に至る可能性がある内容のご注意。

- 安全作業のための注意  【危険】

1) 保護具

作業者も周囲の人も必ず保護メガネを着用してください。打損じのステープルが跳ねて眼に入る危険があります。排気音や排気から耳を保護するため、耳栓などの防音保護具を着用してください。作業環境に応じてヘルメット、安全靴などの防具を着用してください。

2) エアコンプレッサ

本機はエアコンプレッサによる圧縮空気を動力源とする工具です。高圧ガス（酸素、アセチレン、プロパンなど）を使うと異常燃焼をおこし爆発事故の恐れがありますのでエアコンプレッサ以外は使用しないでください。本機の使用前後にはエアコンプレッサの空気タンクのドレン抜きを緩めて、内部に溜まった水や油を除去してください。本機の内部に水や油が溜まると錆発生などで故障原因となります。

3) エアホース接続前に

ステープルが装填されていない事を確認してください。ねじ類の緩みが無い事、損傷／脱落／異常動作の部品が無い事を確認してください。射出口が人や物に当たっていない事、人に向いていない事を確認してください。

4) エアホース接続後に

空気漏れ・異常音・作動音などが無い事を確認してください。エアホースを接続しただけで作動したり、エア漏れや異常音がある場合、そのまま使用すると事故の原因となりますので、絶対に使用しないでください。

5) 作業前に

周囲に作業者以外（特に子供など）がいない事を確認してください。作業場所が、明るく、作業に応じて整理されている事を確認してください。無理な姿勢また後退しながらの作業は大変危険です。高所作業の場合、足場の安全が確保されている事を確認してください。本機やエアコンプレッサを揮発性可燃物（シンナー、ガソリンなど）のそばで使用するとステープル打込時の火花による引火や、空気と一緒に吸入圧縮され爆発の危険があります。揮発性可燃物のそばで絶対に使用しないでください。

6) 作業中に

トリガに指をかけたまま本機を持ち運びまた手渡しなどをしないでください。誤ってステープルが射出されると危険です。本機を移動させる時は必ずトリガから指を離し、場合によりエアホースも外してください。エアホースを掴んで本機を移動しないでください。

7) ステープルを打つときは

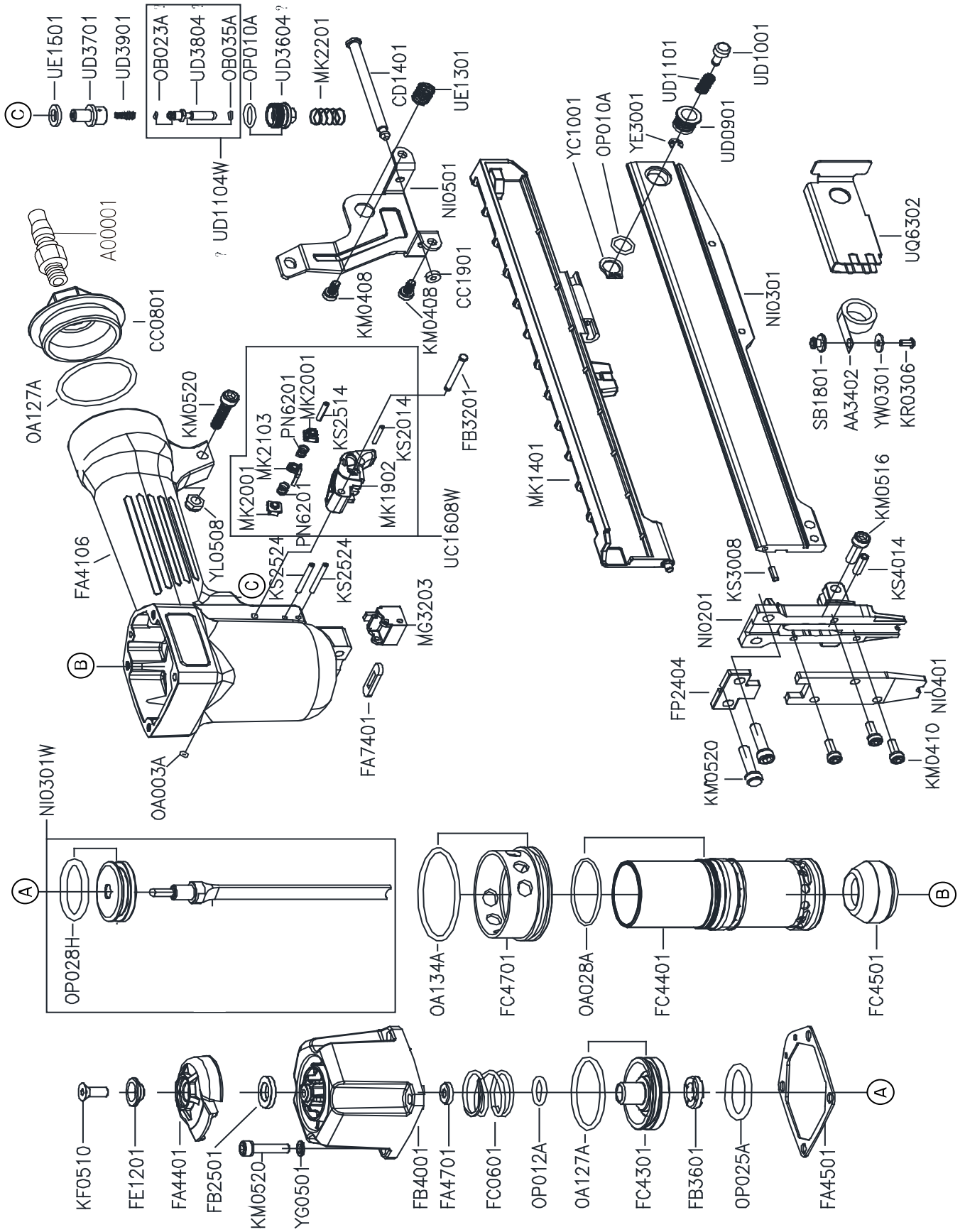
向い合わせでの作業は、打ち損じたステープルが向いの作業者に当り思わぬ事故を招きます。向い合わせでの作業は絶対にしないでください。対象物に配線やガス管など埋設物が無い事を確認してください。射出口を確実に対象物に当てないとステープルが跳ねたり逸れたりし、また本機が反発して体（特に顔に注意）に当たり危険です。射出口を確実に対象物に当ててください。落としたりして連結が切れたステープルを使用すると、ステープル送り不良により、空打ち、ステープル詰まりなどが発生する可能性がありますので使用しないでください。

8) ステープル詰まりを直すときは、エアホースを外し、ステープルを全部抜き取ってから作業してください。

9) 作業終了時には、エアホースを外し、マガジン内のステープルを全て抜き取ってください。

● 仕様

型式	SM-625/V625R													
外形寸法・重量	245mm×230mm×59mm（長さ×高さ×幅） 1.3Kg													
ステープル装填	100本（50本×2連）													
エア継手	1/4" NPT													
使用エアホース	エアホースの内径はΦ6mm以上です。エアホース長さは30m以内のものを使用してください。エアホースが長いと圧力低下により打込み不十分となります。													
使用空気圧	最大許容圧力	0.75MPa (7.6Kgf/cm ²)												
	推奨使用圧力	0.4MPa ~ 0.7MPa (4.1~7.1Kgf/cm ²)												
△【警告】	空気圧は対象物により、上記範囲内で調節し使用してください。範囲を超えた圧力で使用すると本機の寿命を縮めたり、損傷によって事故を招く恐れがあります。													
使用オイル (タービン油) △【注意】	給油の前にエアホースを外してください。1日に2回以上または作業前後にエアプラグの口から2~3滴給油してください。作業前の油は潤滑油となり、作業後の油はさび止めとなります。給油直後にエアを通すと、しばらくの間、油が排気口より噴霧状に飛び散るので油が飛んでも支障のない所で2~3本ステープルを打ってから作業してください。作業後に給油した場合、ステープルを1本打つと油が内部に行き渡ります。排気口から出た油は拭き取ってください。過剰の給油は本機に悪影響を及ぼす場合があります。指定外のオイルを使用すると、能力低下や故障の原因となります。界面活性剤などの添加物を入れないでください。													
騒音レベル	特性音圧レベル LpA	86.31 dB(A)												
	音響パワーレベル LwA	99.31dB(A)												
	計測の不確か性	3dB												
△【注意】	法令や自治体条例の騒音規制値を超えないよう、遮音壁を設けるなど状況に応じた使用をお願いします。													
振動	手腕振動値	2.81m/s ²												
	計測の不確か性	1.5m/s ²												
△【注意】	使用状況により上記と異なる場合があります。実使用での測定に従い安全確保の上、使用してください。													
指定ステープル	<table border="1"> <thead> <tr> <th>使用ステープル</th> <th>足長L(mm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>V0613R</td> <td>13</td> </tr> <tr> <td>V0619R</td> <td>19</td> </tr> <tr> <td>V0625R</td> <td>25</td> </tr> <tr> <td>V0619RC</td> <td>19</td> </tr> <tr> <td>V0625RC</td> <td>25</td> </tr> </tbody> </table>	使用ステープル	足長L(mm)	V0613R	13	V0619R	19	V0625R	25	V0619RC	19	V0625RC	25	
使用ステープル	足長L(mm)													
V0613R	13													
V0619R	19													
V0625R	25													
V0619RC	19													
V0625RC	25													
△【警告】	指定ステープル以外を使用すると故障や事故の原因となります。必ず指定ステープルを使用して下さい。													



● 部品表

部品番号	部品名称 (※使用箇所)	数
AA3402	ブッシュースプリング	1
CC0801	エンドキャップ	1
CC1901	ブッシング(サポート)	1
CD1401	ピン(サポート)	1
FA4106	ボディ	1
FA4401	イグゾーストキャップ	1
FA4501	キャップシール	1
FA4701	ピストンストップ(シリンダーキャップ)	1
FA7401	ノズル	1
FB2501	ピストンストップ (イグゾーストキャップ)	1
FB3201	ピン(トリガー)	1
FB3601	ピストンストップ(ヘッドバルブ)	1
FB4001	シリンダーキャップ	1
FC0601	コンプレッションスプリング(バルブ)	1
FC4301	ヘッドバルブピストン	1
FC4401	シリンダー	1
FC4501	バンパー	1
FC4701	カラー	1
FE1201	イグゾーストキャップリング	1
FP2404	アジャスタブルプレート	1
KF0510	平頭ボルト M5×10	1
KM0408	六角穴付ボルト M4×8	2
KM0410	六角穴付ボルト M4×10	3
KM0516	六角穴付ボルト M5×16	1
KM0520	六角穴付ボルト M5×20	7
KR0306	ボタンヘッドボルト M3×6	1
KS2014	スプリングピン φ2×14	1
KS2514	スプリングピン φ2.5×14	1
KS2524	スプリングピン φ2.5×24	1
KS3008	スプリングピン φ3×8	1
KS4014	スプリングピン φ4×14	1
MG3203	セーフティセット	1
MK1401	カバーマガジン	1
MK1902	トリガー	1
MK2001	アジャストランプ	2
MK2103	コンタクトレバー	1
MK2201	コンプレッションスプリング(トリガー)	1

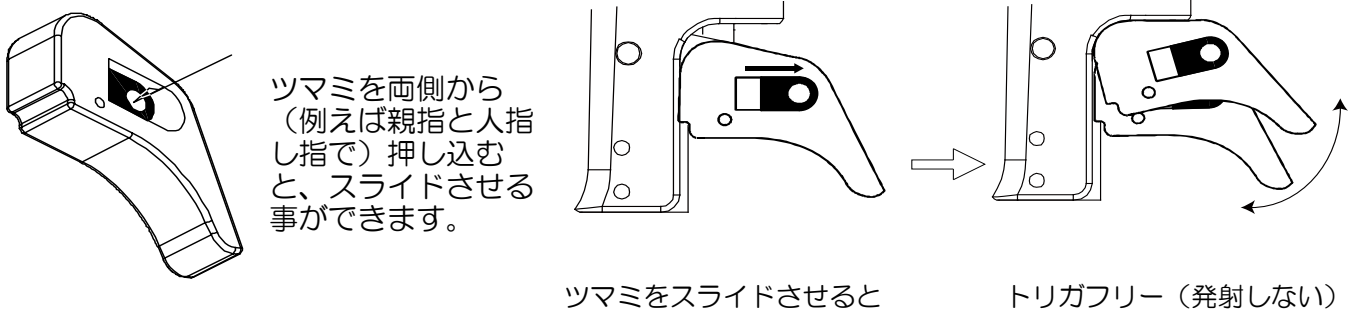
部品番号	部品名称 (※使用箇所)	数
NI0201	ガイドプレート	1
NI0301	マガジンシート	1
NI0301W	ピストンドライバーOリングセット	1
NI0401	カバープレート	1
NI0501	サポート	1
OA003A	Oリング ARP568-003	1
OA028A	Oリング ARP568-028	1
OA127A	Oリング ARP568-127	2
OA134A	Oリング ARP568-134	1
OB023A	Oリング 2×1.27	1
OB035A	Oリング 2.9×1.2	1
OP010A	Oリング P10	2
OP012A	Oリング P12	1
OP025A	Oリング P25(1A)	1
OP028H	Oリング 27.7×3.5	1
PN6201	コンプレッションスプリング(トリガー)	2
SB1801	スプリングシート	1
UC1608W	トリガーアッセンブリ	1
UD0901	ラッチスタッドブッシング	1
UD1001	ストップピン	1
UD1101	コンプレッションスプリング (ストップピン)	1
UD1104W	トリガーバルブアッセンブリ	1
UD3604	トリガーバルブガイド	1
UD3701	トリガーバルブシート	1
UD3804	トリガーバルブステム	1
UD3901	コンプレッションスプリング (トリガーバルブ)	1
UE1301	コンプレッションスプリング(サポート)	1
UE1501	シール(トリガー)	1
UQ6302	プッシャー	1
YC1001	Cリング φ10	1
YE3001	Eリング φ3.0	1
YG0501	スプリングワッシャー φ5	4
YL0508	ロックナット M5	1
YW0301	フラットワッシャー φ3	1
A00001	エアープラグ 20PM	1

● 使用方法 本機とエアコンプレッサを接続する前に、使い方を覚えてください。

⚠ 注意

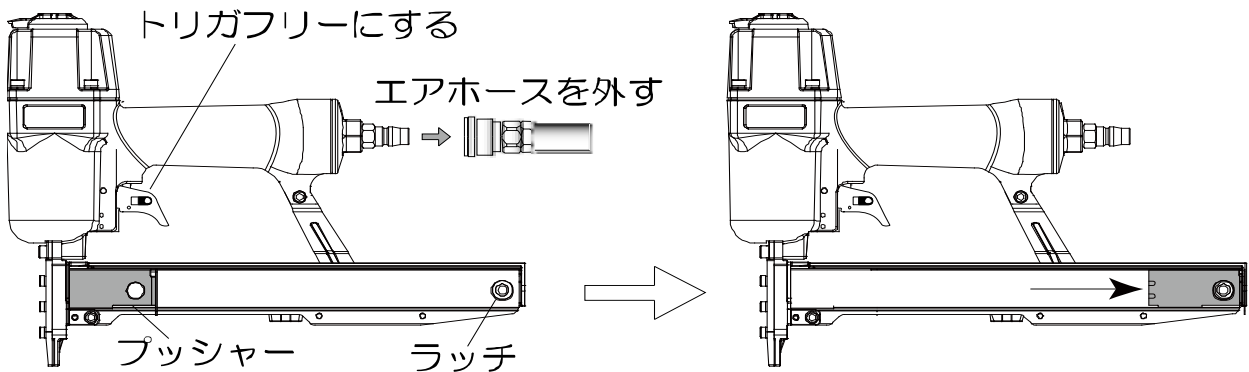
1) トリガフリー機構

トリガ側面のツマミ（赤色樹脂部品）を下図矢印方向にスライドさせると、トリガフリー（トリガを引いても発射しない）になります。作業時以外はこの状態にしておいてください。

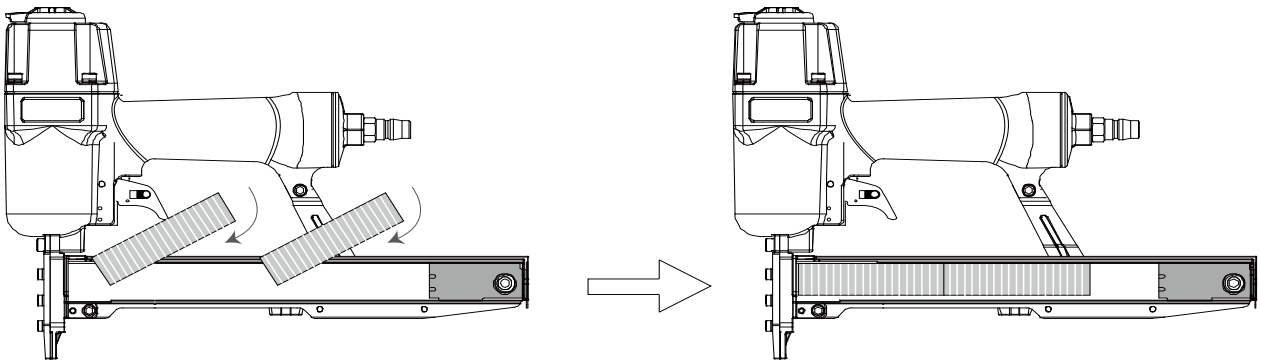


2) ステープルを装填する

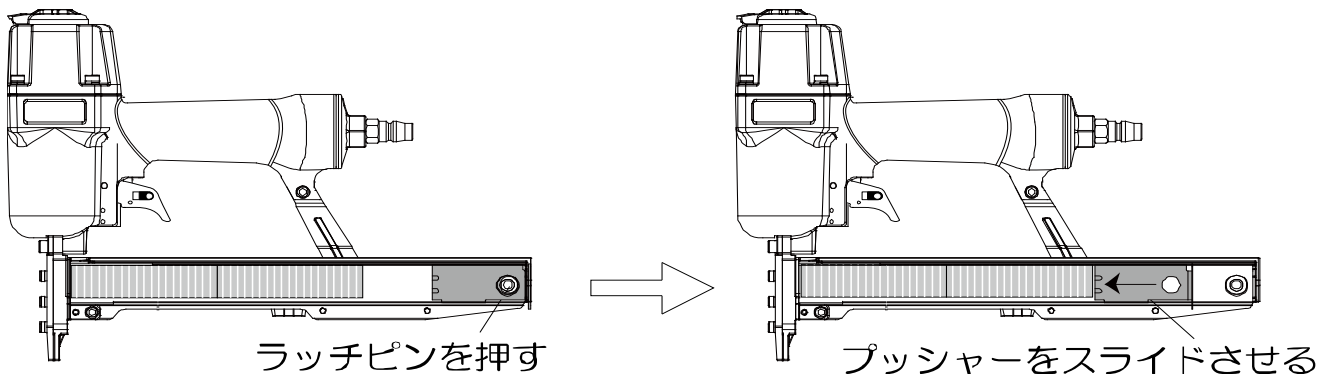
①プッシャーを、ラッチにロックされるまでスライドさせる。



②マガジンシートへ、ステープルを針先側から乗せる。（2連×50本を装填できます）

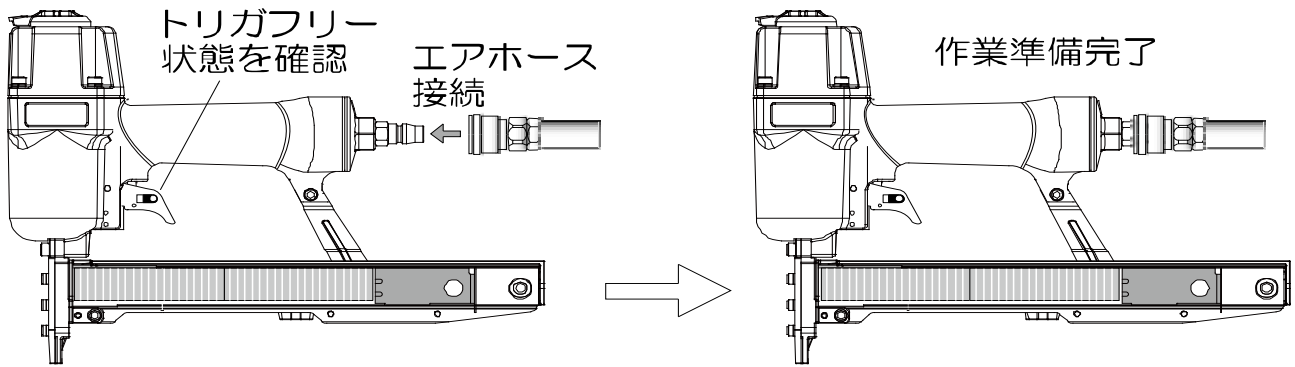


③ラッチピンを押してロックを解除すると、ステープル端面までプッシャーがスライドします。（ロック解除は、プッシャーを手で保持しながらおこなってください。プッシャーがステープルを押し込んでいる事、プッシャーとステープルの間に隙間が無い事を確認してください。）



3) エアホースを接続する。

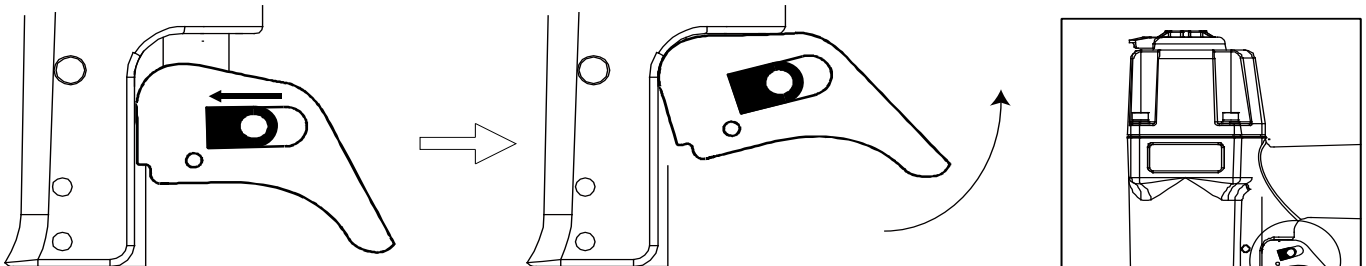
エアホースを接続する時は、必ずトリガフリーとなっている事を確認してください。



4) ステープルを打つ。

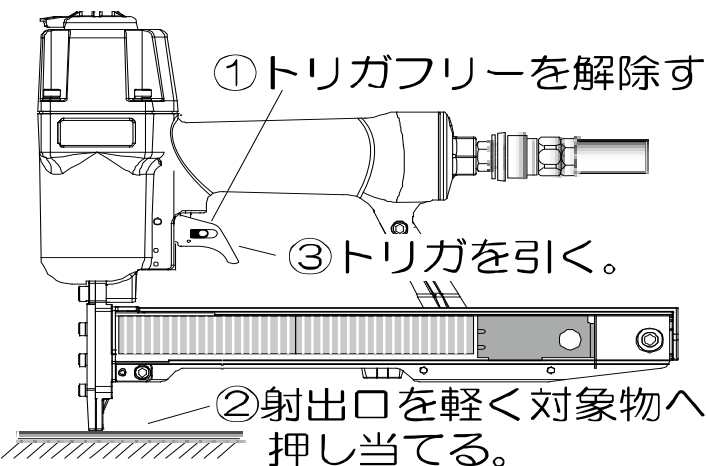


トリガフリーを解除すると、トリガを引くだけでステープルが発射します。ステープルを打つとき以外は、トリガに触れないでください。誤ってステープルが発射すると重大な事故につながる危険があります。トリガ側面のツマミ（赤色樹脂部品）を下図矢印方向にスライドすると、トリガフリーが解除されトリガを引くとステープルが発射されます。



ツマミをスライドさせて

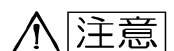
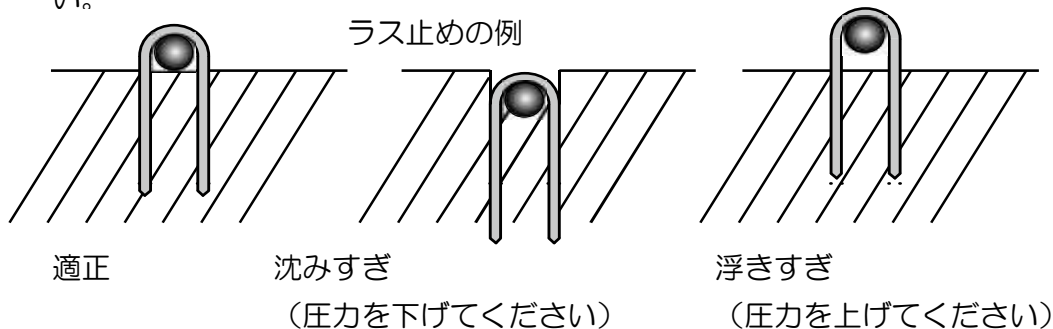
トリガを引くとステープルが発射されます



左図①②③の順に操作してください。

5) 打ち込み深さを調整する。

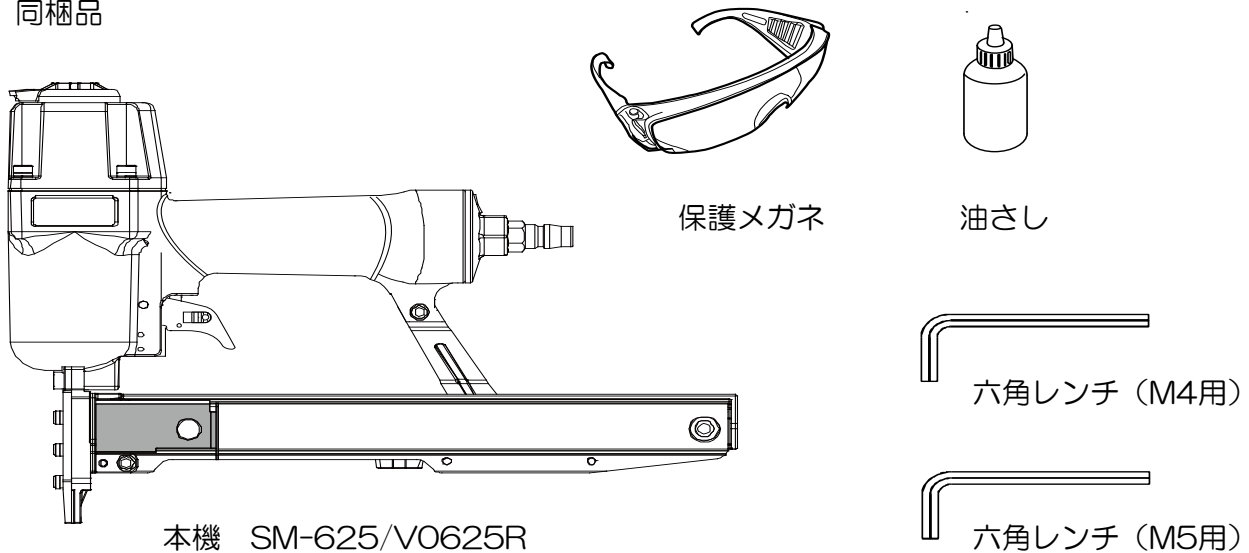
打ち込み深さは、使用空気圧力によって微調整してください。推奨使用圧力の範囲を超えた圧力で使用すると本機の寿命を縮めたり、損傷によって事故を招く恐れがありますので、ご注意ください。



● 保守

取り付けねじなど、嵌合が緩んでいる箇所が無いが定期的に点検し、緩んでいる場合は締め直して下さい。マガジンをときどき掃除し、ステープル接着剤のカス、異物、木くずなどを取り除いて下さい。1日に2回以上または作業前後にエアプラグの口から2～3滴給油して下さい。長期間使用しない時は、注油、清掃し、湿気や埃の影響を受けない状態で保管して下さい。お子様や、作業員以外の方がさわらないよう、場合により施錠などの処置をしてください。

● 同梱品



● 株式会社立川ピン製作所 拠点

本社 三重工場	〒518-1151 三重県伊賀市白檜3279-1 TEL 0595-20-1124 (代) FAX 0595-20-1752
大阪営業所	〒540-0029 大阪府大阪市中央区本町橋8-16 TEL 06-6942-1241 (代) FAX 06-6947-1737
東京営業所	〒130-0012 東京都墨田区太平4-6-17 TEL 03-5608-2100 (代) FAX 03-5608-2101
名古屋営業所	〒460-0022 愛知県名古屋市中区金山3丁目11番16号 松本ビル1階 TEL 052-684-4175 FAX 052-684-4176
福岡営業所	〒812-0014 福岡県福岡市博多区比恵町10-15-101 TEL 092-433-2101 (代) FAX 092-433-2102
ホームページ	https://tachikawa-net.jp